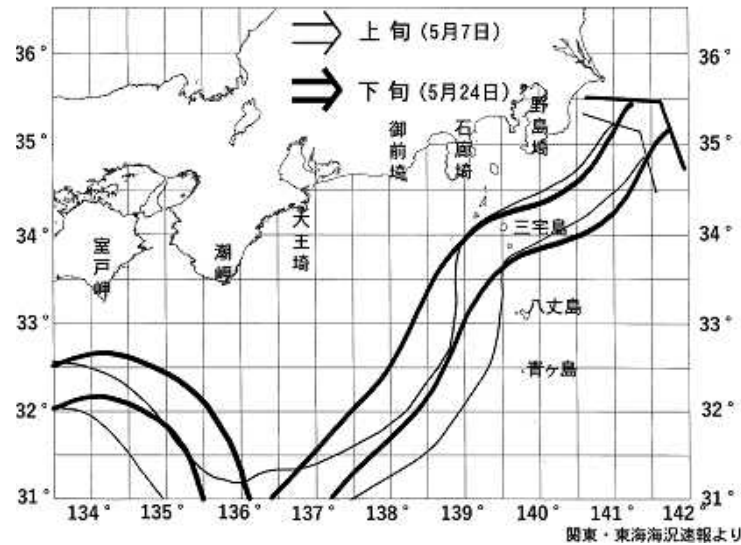


漁海況月報

令和6年5月1日

No. 5 ~5月31日

静岡県水産・海洋技術研究所
(電話 054-627-1815)
静岡県水産・海洋技術研究所 伊豆分場
(電話 0558-22-0835)



5月定地水温の旬平均値(°C) (下段は平年値*からの偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津
上旬	19.0	18.6	17.8	19.6	19.6	19.4
	1.8	1.4	0.7	1.5	1.0	1.3
中旬	18.8	18.3	18.3	19.2	19.7	19.5
	0.9	0.4	0.5	0.4	0.6	0.8
下旬	20.0	19.4	19.1	20.1	20.5	21.0
	1.0	0.4	0.4	0.5	0.5	1.3
月	19.3	18.8	18.5	19.6	19.9	20.1
	1.2	0.7	0.6	0.8	0.7	1.2

*平年値：過去30年(平成3年~令和2年)の平均値

【黒潮流路】

5月を通じてA型で、潮岬沖で大きく離岸した後、三宅島付近まで北上する流路となった。

上旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖31.0°N付近から三宅島付近34.0°Nまで北上した後、北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘、大島西水道に向けて見られた。

中旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖30.5°N付近から三宅島付近34.0°Nまで北上した後、北東に流去した。暖水波及が石廊崎沖の黒潮屈曲部から熊野灘、遠州灘、大島西水道に向けて見られた。

下旬は潮岬沖で大きく離岸し、潮岬沖30.5°N付近から三宅島付近34.0°Nまで北上した後、北東に流去した。暖水波及が一時的に石廊崎沖の黒潮屈曲部から大島西水道に向けて見られた。

【沿岸域水温】

上旬は稲取、下田、沼津、焼津で「やや高め」、伊東、雲見で「高め」であった。中旬は稲取、雲見で「平年並」、伊東、下田、沼津、焼津で「やや高め」であった。下旬は稲取、下田で「平年並」、伊東、雲見、沼津、焼津で「やや高め」であった。

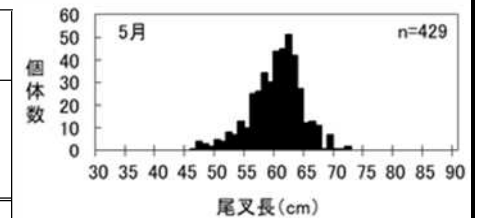
【竿釣カツオ】

5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海及び沿岸竿釣り船によるカツオの水揚げは105.0トンで前年同月(155.2トン)の68%であった。平均単価は383円/kgで前年同月(472円/kg)を下回った。

漁場は33-34°N、138-139°Eの伊豆諸島北部海域などで、御前崎港に水揚げされたカツオの尾叉長組成は大(尾叉長62cm)が主体であった。

竿釣り(近海+沿岸船)カツオ水揚量(県内主要5港)

期間	水揚量(トン)	水揚げ隻数	平均水揚げ量/隻(トン)	平均単価(円/kg)
R6年5月上旬	36.9	11	3.4	491
中旬	18.4	10	1.8	460
下旬	49.7	10	5.0	273
R6年5月計	105.0	31	3.4	383
R5年5月計	155.2	37	4.2	472
R4年5月計	243.3	43	5.7	321



御前崎港で測定したカツオの尾叉長組成

【定置網】

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚げ量は433.5トンで、前年(326.8トン)の1.3倍、平年(469.2トン)の92%であった。また、1か統当たりの水揚げ量は61.9トン(前年:81.7トン、平年:67.0トン)であった。水揚げの多い漁場は、北川漁場(103.0トン、マルソウダ、マアジ、さば類)、次いで古網漁場(81.8トン、マルソウダ、マアジ、ブリ)であった。

多獲された魚種の水揚げ量は次頁(表)のとおりで、マルソウダは154.9トンで、前年比8.8倍、平年比3.2倍であった。水揚げされたマルソウダは、尾叉長31~33cm主体であった。マアジは114.2トンで、前年比5.6倍、平年比86%であった。なお、じんだ(小型当歳魚銘柄)は16.2トン(表記載以外)、前年比1.4倍、平年比14.3倍で、昭和57年以降、最も多い水揚げ量であった。ブリは60.9トン、前年比61%、平年比2.2倍で、銘柄わらさ主体であった。さば類は33.9トンで、前年比34%、平年比26%であった。水揚げされたさば類のうち、マサバは4.9トンで、前年比33%、平年比16%、ゴマサバは29.1トンで、前年比34%、平年比26%であった。イサキは8.1トンで、前年比94%、平年比1.5倍であった。その他の魚種では、オアカムロが昭和57年以降、ふぐ類、キハダが昭和62年以降、クサヤモロが平成9年以降、最も多い水揚げ量であった。

多獲された魚種の主な漁場は、次頁(表)のとおりで、各漁場の水揚げ量の割合は、マルソウダでは古網漁場が32%(50.2トン)、北川漁場が27%(42.4トン)、マアジでは北川漁場が29%(33.1トン)、赤沢漁場が15%(17.5トン)、ブリでは富戸漁場が38%(23.4トン)、川奈漁場が30%(18.6トン)、赤沢漁場が15%(9.2トン)、さば類では北川漁場が46%(15.6トン)、富戸漁場が30%(10.3トン)、イサキでは谷津漁場が46%(3.8トン)、伊豆山漁場が15%(1.2トン)であった。

多獲された魚種の水揚量と主な漁場

魚種	水揚量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
マルソウダ	154.9	8.82	3.22	古網、北川
マアジ	114.2	5.58	0.86	北川、赤沢
ブリ	60.9	0.61	2.18	富戸、川奈、赤沢
さば類	33.9	0.34	0.26	北川、富戸
イサキ	8.1	0.94	1.54	谷津、伊豆山

【サバたもすくい・棒受網】

小川港所属の棒受網漁船は月を通じてたもすくい漁業主体で操業し、漁場は月を通じて大島千波・利島に形成された。水揚量はマサバ31トン（前年同月比4.4倍）、ゴマサバ116トン（前年同月比32%）であり、1隻当たり水揚量はマサバ1.7トン（前年同月比5.7倍）、ゴマサバ6.4トン（前年同月比47%）であった。

平均単価は、マサバは130円/kgで前月（169円/kg）、前年同月（153円/kg）を下回った。ゴマサバは165円/kgで前月（198円/kg）を下回り、前年同月（170円）並であった。

漁獲物の体長組成は、マサバは34～35cm、ゴマサバは33cmにモードを持つ単峰型を示した。

小川港 さば類（たもすくい・棒受網漁業）水揚量

期間	水揚量(トン)		水揚日数	水揚隻数	水揚/隻(トン)		平均単価(円/kg)		漁場
	マサバ	ゴマサバ			マサバ	ゴマサバ	マサバ	ゴマサバ	
R6年5月上旬	30	47	3	5	5.9	9.4	130	137	利島
中旬	1	39	3	6	0.2	6.4	131	171	大島千波・利島 ・ひょうたん瀬
下旬	0	30	3	7	0.0	4.3	166	201	大島千波・利島
R6年5月計	31	116	9	18	1.7	6.4	130	165	大島千波・利島 ・ひょうたん瀬
R5年5月計	7	357	14	26	0.3	13.7	153	170	大島千波、利島
R4年5月計	15	238	10	18	0.8	13.2	165	164	ひょうたん瀬

*水揚量については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため、月計と一致しないことがある。

【サクラエビ船曳網】

5月の出漁日数は5日、水揚量は93.6トンであった（前年同月の出漁日数は9日、水揚量は111.3トン）。主漁場は戸田沖、田子の浦沖～由比沖であった。漁獲されたサクラエビの体長組成は40mmにモードがあった。

サクラエビ水揚量

期間	水揚量(トン)	日数	漁場
R6年5月上旬	6.8	1	蒲原沖～由比沖
中旬	31.2	2	戸田沖、田子の浦沖～由比沖
下旬	55.6	2	戸田沖、田子の浦沖～由比沖
R6年5月計	93.6	5	-
R5年5月計	111.3	9	田子の浦沖～由比沖
R4年5月計	158.2	13	富士川沖～興津川沖
R3年5月計	88.0	10	富士川沖～三保沖、用宗沖

【シラス船曳網】

県内7港における1日1か統当たりの水揚量は、遠州灘（新居、舞阪、福田、御前崎）が275kg、駿河湾（吉田、用宗、由比）が155kgであった。平均水揚量は235kgで前年同月（215kg）の1.1倍、平年同月（過去5か年平均：388kg）の61%であった。また、総水揚量は398トンで前年同月（413トン）の96%、平年同月（860トン）の46%で前年同月並であったが、平年同月を大きく下回った。平均単価は1,239円/kgで前年同月（1,686円/kg）の73%、平年同月（747円/kg）の1.7倍で、前年同月を大きく下回ったが、平年同月を大きく上回った。

7港のシラス水揚量

漁港		水揚量(トン)	延日数	延統数	平均水揚量(kg/統)	平均単価(円/kg)
遠州灘	新居	45.1	14	163	276	1,007
	舞阪	157.7	14	547	288	1,234
	福田	82.5	13	312	264	1,179
	御前崎	25.3	11	108	234	1,159
駿河湾	吉田	74.0	13	338	219	1,374
	用宗	12.8	11	179	71	1,847
	由比	1.0	4	50	20	1,666
R6年5月計		398.4	80	1,697	235	1,239
R5年5月計		413.2	87	1,921	215	1,686
R4年5月計		1,156.8	116	2,643	438	710

*各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。

*平年：過去5か年（平成31～令和5年）の平均値

【まき網（いわし類）】

マイワシの水揚量は、沼津港では28.9トン（前年同月比2.6倍、平年同月比8.3%）、小川港では47.3トン（前年同月比41倍、平年同月比26.2%）、伊東港では5.0トン（前年同月水揚げなし、平年同月比12.7%）、静浦港では水揚げがなかった。カタクチイワシは小川港で0.2トン（前年同月比1.7倍、平年同月比2.4%）、伊東港、静浦港、沼津港では水揚げがなかった。

なお、伊豆半島東岸の大型定置網7か統の水揚量は、マイワシは0.3トン、カタクチイワシは0.02トンであった。

*平年：過去5か年（平成31～令和5年）の平均値

【調査船駿河丸の動向】

5月 8日	～	5月 10日	地先定線観測調査	(3日間)
5月 14日	～	5月 16日	さば類撒餌、計量魚探調査	(3日間)
5月 17日			調査機器習熟	(1日間)
5月 20日			水質調査	(1日間)
5月 21日	～	5月 22日	サクラエビ音響調査	(2日間)
5月 27日	～	5月 28日	いわし類卵稚仔分布調査	(2日間)

静岡県水産・海洋技術研究所のホームページ

トップページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/>

海洋情報のページ…………… <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/O1ocean/>

右のQRコードから、人工衛星による観測情報、県内沿岸水温情報、関東・東海海況速報等を見ることができます。

